

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

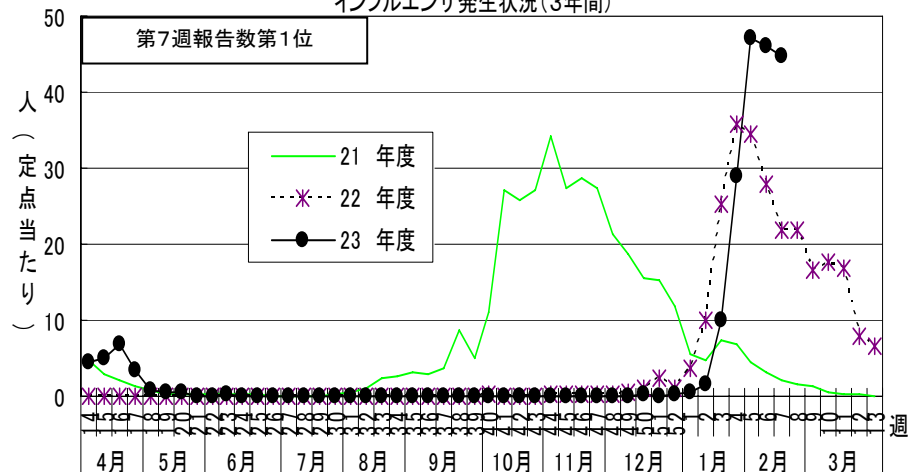
平成24年2月13日（月）～2月19日（日）〔平成24年第7週〕の感染症発生状況

第7週で患者報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

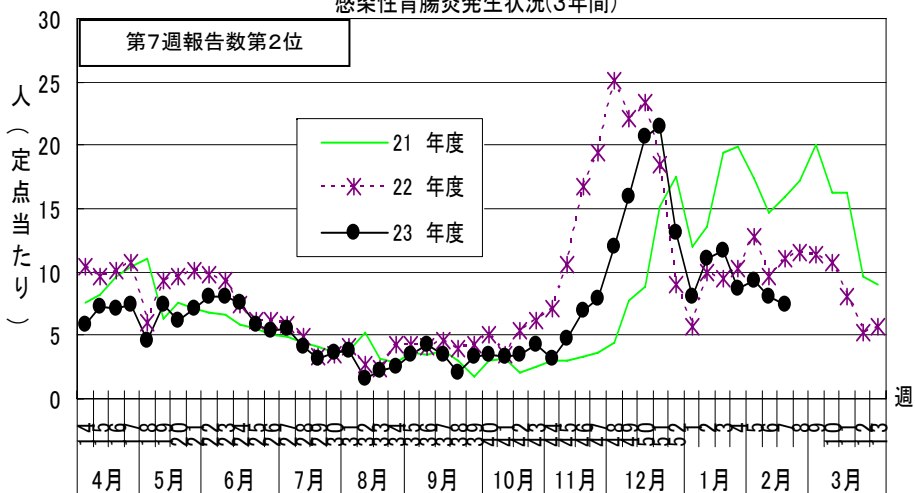
インフルエンザは定点当たり44.80人と前週（45.96）より患者報告数はやや減少しており、第5週以降は減少傾向にありますが、依然として流行発生警報基準値（定点当たり30人）を大きく超えた状態で推移しています。また、年明け以降、多摩区及び麻生区における患者報告数は第7週まで増加し続けています。

感染性胃腸炎は定点当たり7.42人と前週（8.12）より患者報告数は減少しており、例年と比較しても低いレベルで推移しています。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザの流行の勢い止まず！！

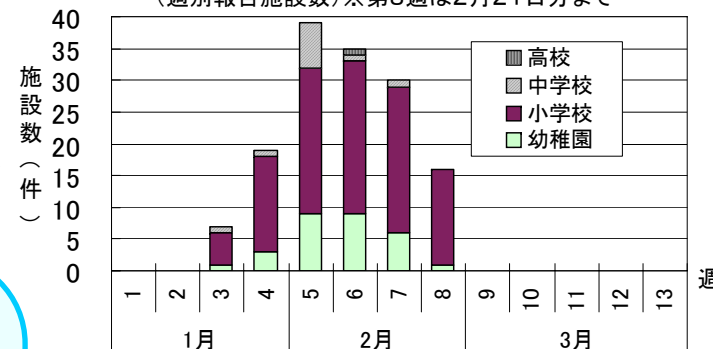
左のグラフにあるとおり、第5週の流行ピーク以降、患者報告数は大きく減少せず、非常に高いレベルで推移し続けています。また、臨時休業の報告についても、小学校を中心に報告が続いています（右上グラフ参照）。

現在流行中のインフルエンザウイルスはA香港型が中心となっていますが、B型ウイルスの検出割合が増加しています（右下グラフ参照）。

そのため、今シーズンインフルエンザに感染した方も、異なる型のウイルスに再度感染する可能性がありますので、引き続き予防対策（手洗い・うがい・咳エチケットなど）を徹底してください。



川崎市内の学校等の臨時休業実施状況
(週別報告施設数)※第8週は2月21日分まで



川崎市インフルエンザウイルス検出状況
(第8週は2月21日結果判明分まで)

